

市長総括説明から

8月28日、平成21年第6回市議会定例会が開会しました。はじめに台風9号の市内の被害状況や生活再建支援、佐用町への支援を述べた後、当面する市政の諸課題ならびに提出議案の主なものについて、説明しました。

○副市長候補者の選任

副市長候補者の公募に、1、371人の応募がありました。論文や民間での実績などの第1次選考、面接による第2次選考を経て、副市長候補者を決定しました。今期議会中に選任同意議案を提出します。

■安全に安心して暮らせるまち

○円山川緊急治水対策事業

国により、円山川や出石川の関係地区での河道掘削、無堤地の解消、堤防の高上げ、強化工事、護岸整備工事などが進んでいます。

これまでの河道掘削により、

台風9号の出水時の水位が、円山川立野地点で81センチメートル、上山地点で約90センチメートル、出石川弘原地点で71センチメートル低下し、大きな効果がありました。

内水対策では、八代排水機場排水ポンプの製作と上屋新築工事、六方川、鎌谷川の防水堤工事が進んでいます。

KTR円山川橋梁架替工事事は、平成23年3月の完成を目指し、鳥居橋架替え工事は来年3月完成予定です。

稲葉川土地区画整理事業は、日高町浅倉地区県工事区域の仮換地指定が完了し、県築堤工事が可能になりました。

○豊岡盆地地盤沈下対策

豊岡盆地地盤沈下対策技術検討委員会から、「地盤沈下を進行させない」を最終目標に、今後10年間で消雪用地下水くみ上げ量を約50パーセント削減することや地下水くみ上げ規制が必要ななどの提言を受けました。

市では、この提言を受け、対策を執ります。

○新型インフルエンザ対策

市では、既に各公共施設に手指消毒剤を配布するなど感

染予防に努め、弱毒性に対する行動計画案をまとめられています。強毒性については暫定版を作成済ですが、国県の見直しを踏まえ、計画をまとめます。

○高齢者運転免許

自主返納サポート制度

過去3年間の本市での交通事故死亡者に高齢者が多いことから「高齢者交通事故防止モデル地区」に指定されています。市では、高齢者の事故削減を図るため、高齢者運転免許自主返納を推進しています。自主返納者には、城崎温泉外湯、その他6湯の入浴料についても特典を設けます。

○女性特有の

がん検診推進事業

国は、市区町村が実施するがん検診に関し、特定年齢の女性に、子宮頸がんおよび乳がんに関する検診手帳とがん検診無料クーポン券を配布することとしました。市から手帳とクーポン券を送付し、受診促進を図ります。

○総合健康ゾーン

整備運営事業

7月上旬から、新設の健康増進施設の本体部分の杭工事

と旧豊岡病院第6病棟を改修する健康福祉施設の工事に着手しています。

今期議会には「施設の設置及び管理に関する条例」および「指定管理者の指定」に関する議案を提出しています。

■人と自然が共生するまち

○広域ごみ・汚泥処理施設

整備事業

北但行政事務組合では、地元協議結果を踏まえ、進入ルートとの整備方針を確認して、7月に土地関係者会議を開催し、約37.4ヘクタールの用地買収の準備を進めています。

○上水道第5次拡張事業

佐野浄水場の改築は、既に土木・建築工事を終え、現在、機械・電気設備工事を行っています。今後、10月に試運転を開始し、来年1月から新施設への切替えを行い、本年度末には新浄水場からの給水開始を予定しています。

■持続可能な「力」を

高めるまち

○山陰海岸ジオパーク

昨年度から取り組んできた世界ジオパークネットワーク加盟に向けて、6月に日本ジオパーク委員会へ申請書を提

出しました。7月には、東京でプレゼンテーションを行い、8月22日から25日には、中国の山東省泰安市で開催された世界ジオパークネットワークのシンポジウムに参加し、山陰海岸をPRしてきました。

9月に、日本ジオパーク委員による現地視察が行われ、10月または11月には、選定結果が出る予定です。

○兵庫県大型観光交流

キャンペーン

4月からスタートしたキャンペーンは、6月末で終了しました。5月中旬の新型インフルエンザの影響により、所期の目的を達成することはできませんでしたが、地域活性化・経済危機対策臨時交付金を活用し、誘客に向けたさまざまなイベントを展開しました。

4月29日にスタートした「名探偵コナンミステリーツアー」は、順調に推移しています。

○第10回日・韓・中環境創造型

稲作技術国際会議

この会議は、農業を食の安全だけでなく、地域の食文化の復権や生物多様性の保全に

資すると位置付け、技術確立を目指しています。

韓国蔚珍郡で開催された今回は、豊岡の環境創造型農業の取組みについて、私が基調講演を行い、J A たじまから現状報告も行われ、3カ国の有機農業の取組状況や課題、今後の方向性を確認しました。

### ○コウノトリ但馬空港からの

#### 東京直行使

7月の「羽田空港発着枠の配分基準検討懇談会」で、「100席以下の小型機による新規路線を開拓するためのチャレンジ枠」として1枠の創設が盛り込まれました。これは、コウノトリ但馬空港からの東京直行便を意識されたものと考えられます。

今後は、「コウノトリ但馬・羽田路線」を就航する航空会社の確保に引き続き取り組んでいきます。

### ○e通勤社会実験

公共交通を残すために、本年4月から市職員がe通勤(公共交通通勤)モニターを始め、10月からは原則、全職員を対

象に取り組みます。

また、事業者にもe通勤の協力を依頼し、参加事業所には、通勤費用の軽減支援をすることとしています。

### ■未来を拓く人を育むまち

#### ○幼保のあり方計画の

#### 取組み状況

7月に「豊岡市における幼稚園・保育所のあり方計画(案)」を策定し、市内11会場で市民説明会を開催しました。

今後も関係法人と協議を進め、最終的な計画策定は、10月末をめどにしています。

### ■市政の運営

#### ○市民の皆さんとの対話

6月から7月にかけて、「ふれあいトーク」と銘打ち、16の市民グループの方々と対話を行いました。

今後もさまざまな方法で市民の皆さんとの対話を図りたいと考えています。

### ○情報発信戦略

市のまちづくりや豊岡の魅力を国内外に向けて強く、かつ効果的にアピールするため、報道関係者、旅行者などを対象に、11月に東京で「豊岡エキシビジョン」を開催する予定です。

また、イラストレーターの

永田 萌さんが絵を描き、県立コウノトリの郷公園の池田啓さんが文章を書かれたコウノトリの絵本が出版されますので、情報発信ツールとして活用していきます。

### ○新庁舎建設

「現本庁舎を保存し、活用する方向で基本設計を進める」方針を決め、新庁舎建設基本設計業務の業者を選定し、8月11日に業務委託契約を締結しました。

現本庁舎の活用策については、機能面、費用面、および財源面の3つの観点から、防災機能、議会機能、市民交流機能の3つを軸に検討を進め、今期議会での議論を踏まえた上で方向性を定めていきます。

### ○コウノトリグランドホテル

#### に関する訴訟提起

(株)リビングワールドがホテルを運営するに当たり、平成17年3月、旧出石町において、公益機能の増進のため、10年間のホテル運営を条件として5千万円を補助しています。しかし、同社はホテル運営から撤退し、ホテルは営業停止になっていきます。

市では、「ホテル再建に関する契約」を解除し、同社に対し補助金の返還を求めましたが応じられませんでしたので、返還訴訟を提起します。

### ○第2次行政改革

市では、本年度を最終年度とする行政改革大綱を策定し、さまざまな改革をしてきましたが、類似団体に比べ歳出規模が大きく、さらなる歳出削減を行い、財政の健全化を図る必要があります。

また、合併に伴う地方交付税優遇措置が終了した平成33年度の一般財源を推計すると、本年度当初予算に比べ、総額約42億円の減額となる見込みです。現在の行革の延長で29億円は対応できるものの、残りの13億円はさらなる行革で新たに生み出す必要があります。このため、来年度から平成25年度までを推進期間とする第2次行政改革大綱を策定します。

昨年度から導入している事務事業評価は、本年度は、主な17の事務事業について事務事業評価委員会の外部評価を受け、公表しました。すべての事務事業についても公表します。

### ○上下水道料金賦課徴収業務の民間委託

現在は、メーター検針、閉開栓を委託していますが、来年4月から、受付から収納・滞納整理までの賦課徴収業務を一体的に委託したいと考えています。

### ○豊岡自動車教習所用地等の売却

平成16年10月、民間企業に経営移譲し、現在、(株)豊岡自動車教習所が経営しています。市は、土地建物を貸し付けていますが、売却し、財源確保を図る方が有利であると判断し、今後、売却に向けた事務を進めていきます。

### ○財政健全化判断比率等

地方公共団体の財政の健全化に関する法律が本年4月に全面施行され、「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「実質公債費比率」「将来負担比率」と公営企業会計の「資金不足比率」が一定基準以上になった場合は、定められた計画を策定し、財政の健全化を図ることが義務付けられました。本市の平成20年度決算では、いずれの比率も基準未満でした。

※市ホームページに「市長総括説明」の全文を掲載しています。